

2008 年度 研究開発室 事業報告

1. 大学図書館の研究・研究支援機能高次化に関する動向調査

国会図書館、慶應義塾大学、図書館総合展、千葉県立博物館、科学博物館等におけるシンポジウム参加、施設調査等を行い、図書館・博物館・文書館等の研究・研究支援機能高次化に関する動向調査を行った。

2. 歴史的・文化的資産データ集積事業の整備

三重県史編さんGとの協働による歴史的・文化的資産データ集積事業（H19～22）を継続して実施し、資料カード約 2000 点を作成し、入力を行った。

3. 伊勢新聞記事データベースの整備

伊勢新聞の特定主題、特定地域の記事に関する目録を機会を捉えて作成することとしていたが、今年度は機会がなく着手しなかった。

4. 三重大学文化フォーラムの実施

志摩市、亀山市、伊賀市を開催地として、三重大学文化フォーラムを各 6 回開催した。

主催：開催地 3 市、三重大学、皇學館大学社会福祉学部（伊賀）、協賛：中部電力 三重大学地域貢献支援事業

5. 「発見塾」三重大学シリーズの実施

津市内を開催地として、「発見塾」三重大学シリーズを 6 回開催した。

主催：津市教育委員会、主管：津文化協会

後援：附属図書館研究開発室・創造開発研究センター

6. 三重大学附属図書館の所蔵資料に関する調査研究

八重田村文書、校史関係資料などの三重大学附属図書館の所蔵資料についての調査研究を行い、目録の作成を進めている。

7. 尾鷲市須賀利町の漁村の生活史に関する聞き書きの出版

平成 19 年度に行った尾鷲市須賀利町における漁村の生活史に関する聞き取り調査の成果報告書の刊行を行った。

8. 「藤堂藩の研究」の出版

藤堂藩史研究会（代表教育学部藤田達生教授）の研究成果「藤堂藩の研究」（藤田達生監修・藤堂藩史研究会編）の刊行に支援協力を行い、3 月に刊行を見た。

9. 研究開発室広報の充実

研究開発室のHPを中心として、研究開発室の調査研究活動に関する情報の発信と蓄積を行い、新たに「ギャラリー」を開設した。

10. 展示ギャラリーの運営（新規）

附属図書館閲覧室2階において、展示ギャラリーを運営し、「三重大学教育学部の源流 三重県師範学校」を2期にわたって展示し、更に、この展示をもとにしたデジタルギャラリーを附属図書館研究開発室ホームページ上で公開している。三重大学歴史研究会と共催して、附属図書館閲覧室1階において特別展「藤堂藩古文書展」を開催し、解説冊子を刊行した。

11. 「藤堂高虎公入府四〇〇年と津の町展」の開催（新規）

三重県史編さんグループ、三重県立博物館と連携し、津文化協会主催の、樋田清砂氏所蔵文書による「藤堂高虎公入府四〇〇年と津の町展」（2008年10月8日～13日、津リージョンプラザ、津市・岡三加藤文化振興財団助成）の開催に協力した。期間中入場者は2300余名を数え、盛況であった。

12. 海女研究会の運営（新規）

博物館等と大学との調査研究活動における連携活動の一環として、海の博物館、三重県立博物館等との連携による海女研究会を設立し、4回開催した。

13. 歴史街道GIS

三重県との協働により、歴史街道GIS事業を、学術ポータルセンター事業として実施し、「伊勢型紙見本帳」、「三重県水産図解」等の資料のコンテンツ整備を進めた。

14. 機関リポジトリ

本学における機関リポジトリを、学術ポータルセンター事業として実施した。